

JSNだより

2024
No. 23
AUTUMN

Life Life Life With Community



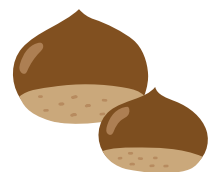
Photo by 中澤 仁

Jin-i-kai-Sennenmura-Network dayori No.23

お月見の夜、
目が心を癒してくれます！



- 1 仁医会業務執行役員
ごあいさつ
仁医会の健康献立 ひじきのわさび風味
- 2 永年勤続者紹介
- 3 病院機能評価
- 4 仁医会 夏祭り
- 5 JSN取組発表会



私たちは地域で求められる
医療・福祉サービスを実践し、
さらなる向上を目指します。

JSN
Life Life Life With Community

医療法人
仁医会

仁医会の
詳しくは



Dream Come True

皆さんは、今年の大谷翔平選手の「50本塁打・50盗塁」という驚異的な記録に注目されたことでしょうか。彼は、類まれな才能と努力で、日本人離れした実績を次々と打ち立てています。しかし、単に彼の成功を遠い存在と感ずるのではなく、そこから何か学べることはないでしょうか？

大谷選手が高校時代から取り入れていた目標達成シート「マンダラチャート」をご存知でしょうか。彼は、中心に「ドラフト1位指名」という大きな目標を据え、その周りに目標達成に必要な具体的な要素—球速、メンタル強化、体作り、人間性など—を細分化し、それを日々の行動に落とし込んで実行してきました。このように、目標を明確にし、それを

具体的なアクションプランに落とし込むことで、大谷選手は着実に成功を収めてきました。

私たちも、医療や介護のプロとして現場で、同じように情熱を持って取り組むべき目標を見つけ、それを実現するための計画を立て、着実に進んでいくことが求められます。

私自身も50歳を迎え、次の10年に向けて新たな挑戦を見据えています。具体的に達成可能な目標を持ちながら、情熱を持って取り組んでいきたいと思っています。皆さんもこの機会に、自身の目標を見直し、本当に実現したいことに向けて一緒に努力を続けていきましょう。自分のやりがいや成長を感じられる仕事こそが、私たちにさらに前進させてくれるはずですよ。



特定医療法人 仁医会
業務執行役員 事務局長

山口 慎也

仁医会 職員食人気メニュー紹介 筋肉 健康 美容

ひじきのわさび風味(3~4人前)

仁医会の健康献立!

簡単でオススメ!



料理長の健康一言

仁医会の献立で長年愛されてきたメニューを紹介します。ひじきを使ったメニューは煮付けなどに偏りがち。ハラダ風に仕上げて食べやすいメニューです。ひじきはカリシウムがたっぷりて骨や歯が丈夫になり骨粗鬆症の予防に最適です。精神を安定させるリラックス効果もありますよ。



1人分	たんぱく質	2.8g	食物繊維	6.3g
158kcal	脂質	11.5g	塩分	1.4g

材料

- ひじき 10g
- 人参 25g
- えのき 35g

食欲の秋こそおいしい食事!



【調味料】

- | | | | | | |
|---|------|------|---|-------|------|
| A | 出し汁 | 20cc | B | わさび | 0.5g |
| | みりん | 8cc | | マヨネーズ | 15g |
| | 薄口醤油 | 5cc | | | |

作り方

- ①ひじきを調味料Aで煮て、煮汁がなくなるまで煮詰める。
- ②人参とえのきはそれぞれ3cm程度に切り、茹でて冷水にさらし水気をきる。
- ③調味料Bを合わせて、①と②を和える。
- ④器に盛り完成!

2024年度 永年勤続表彰者



在宅事業部
居宅部在宅介護課 課長
介護福祉士

永田 智久

この度は勤続25年を迎えることができました。本当にありがとうございます。仁医会の一職員として尽力できていることを誠に光栄に思います。

この25年間、仕事をやり遂げる事が出来たのもひとえに、皆さまのお力添えがあってこそだと存じております。日々、目の前のことに一生懸命に取り組んでいますが、まだまだこれからだと思っております。今日という日を、新たな出発点だと思い、皆さまのご厚誼にお答えするよう、皆さまへの感謝を忘れず一生懸命努めていきますので、今後とも宜しく願いいたします。



にしお老人保健施設 彩りリハケア部けやき課 主任
介護福祉士

長谷部 恵理

この度は永年勤続に表彰していただきありがとうございます。

学生の時、実習に来た事をきっかけに西尾老人保健施設へ入職しました。介護の仕事は思っていた以上に人と深く関わる職種であり、当時はその責任の重さに続けられるのかと不安を感じていました。これまで多くのことを経験し、指導して下さった方や、周りの職員に支えていただき本日を迎える事ができた事を心より感謝しています。

これからも仕事に尽力してまいりますので、今後ともよろしく願い申し上げます。

勤続30年表彰

高須 登美江 (介護福祉士)

勤続25年表彰

藤田 さおり (介護支援専門員)
前田 誠司 (介護支援専門員)
長谷部 恵理 (介護福祉士)
永田 智久 (介護福祉士)

勤続15年表彰

松川 佐和子 (事務職)
稲垣 元美 (看護師)
成田 幸子 (作業療法士)
中野 裕康 (事務職)
田坂 友幸 (事務職)
小澤 稔久 (理学療法士)
横山 厚子 (介護福祉士)

皆さま、永年勤続おめでとうございます!



勤続10年表彰

丹羽 浩一 (介護福祉士)
久米 友美 (看護師)
牧野 幸子 (看護助手)
太田 芳宏 (看護師)
都築 弘幸 (介護福祉士)
寺島 美奈子 (看護師)
清水 公貴 (作業療法士)
竹田 美保 (言語聴覚士)

倉地 祐輝 (理学療法士)
近藤 利樹 (理学療法士)
野澤 住枝 (看護助手)
酒井 可奈子 (管理栄養士)
渡辺 香 (調理補助)
中村 正子 (調理補助)
矢田 久美 (栄養士)
榎原 幸子 (栄養士)
村瀬 とし子 (調理補助)
磯村 典輝 (理学療法士)

伊奈 文 (言語聴覚士)
榎原 泰子 (訪問看護師)
高野 祥平 (社会福祉士)
成瀬 竜也 (理学療法士)
榎戸 春美 (介護助手)
立花 優衣 (作業療法士)
三好 信之 (社会福祉士)
石川 由香里 (保育士)
鳥居 尚子 (看護師)
渡辺 浩司 (理学療法士)

病院機能評価

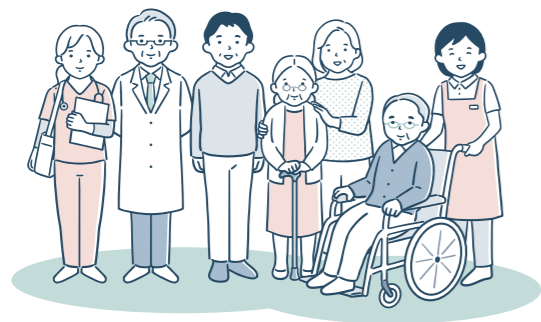
あいちリハビリテーション病院は、
2024年6月に日本医療機能評価機構の認定病院となりました。



2022年11月、あいちリハビリテーション病院は病院機能評価の認定を目指し、事務部門と病棟部門が団結して医療の質と安全を追求するプロジェクトを立ち上げました。

2024年2月に本審査を受け、厳しい基準をクリアし、同年6月に認定を受けることができました。この認定は、患者様の安全と医療の質を確保する取り組みが高く評価された証です。

今後も病院職員が丸となり、認定水準を維持し、患者様の安全と満足度を第一に、更なる医療の質の向上に努めてまいります。



「病院機能評価」は日本医療機能評価機構による評価です。

「病院機能評価」とは病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動(機能)が、適切に実施されているかどうかを評価する、公益財団法人日本医療評価機構による第三者評価の仕組みです。

病院が備えているべき機能について、中立・公平な専門調査者チームによる審査を行い、一定の水準を満たした病院を「認定病院」としています。

評価を行う項目は「患者さんの視点に立って良質な医療を提供するために必要な組織体制」や、「実際に医療を提供するプロセス」、「病院全体の管理・運営体制」など、約90項目があります。

信頼できる医療を確保することを目的に、専門調査者が病院の機能を評価することで、その病院の課題を明らかにして医療の質改善を支援するものです。



毎年開催していた仁医会夏祭りですが、コロナウイルス蔓延により見送りとなっていました。この度5年ぶりに開催することができました。

地域の方々や学校からもご協力いただき、盛大に祭りを盛り上げることができました。

イベントは子供達のダンスから始まり、盆踊りや和太鼓の演奏も行い、ご利用者の笑顔もいつも以上に輝いていました。

出店では、当施設の夏祭りで初めてとなるキッチン

カーにもご協力いただき、ご来場された方々に楽しんでいただけたと思います。

また、祭りの最後を締めくくる打ち上げ花火も豪快に上げさせていただきました。

5年ぶりに夏祭りが開催でき、ご利用者とご家族の和気あいあいとした時間も提供できたのではと思っております。

ご協力いただいた方々、有難うございました。来年の夏祭りも楽しみにして下さい。



JSN取組発表会



9月8日(日)、第7回JSN取組発表会が開催されました。JSN(仁医会せんねん村ネットワーク)で行われている取り組みを様々な方に共有すべく、発表者は日々準備をして参りました。



今年度も多彩な演目が揃いました

今回の演題は粒ぞろいの23題が発表されました。医療・福祉・食事・保育・災害対策など、内容は多岐にわたり、昨今、我々を取り巻く様々な事象に目を向け、改善を目指した取組の成果を存分に披露することができました。熱のこもった発表に聞き入る皆さまの姿がとても印象的でした。



国際生活機能分類(ICF)の考え方を 取り入れた退院支援に向けて (あいちリハ リハケア部 あおぞら課)

あおぞら病棟では、回復期病棟としての退院支援にICF(国際生活機能分類)の側面を取り入れ、退院後の生活を考える一助にするとともに、多職種連携に役立てたいと考えています。昨年度はICFに対する周知において、不足していた部分の補完を行うため『ICFカンファレンス』の運営に取り組みました。本発表では、それにより病棟職員の理解度がどのように変化したかを示すとともに、一年間取り組んだ上での反省点を踏まえ、今後のICFカンファレンスの運用方法について報告しました。



最期の食事“いろどり食” (にしお老人保健施設彩り リハケア部 かえで課)

老健を最期の場所(看取り)と選択されるご家族も増えています。最期を彩り、食事を最期まで口から召し上がっていただけるよう、新しい形態の「いろどり食」を提案しました。その方に合わせた量で、口当たりが良く、飲み込みやすい形状にしたいと多職種で検討し、完成させました。また、その方の思い出の食べ物や好物をご家族に教わり、一緒に考えた「思い出レシピ」を提供し、実際に食べていただいた実績を報告しました。



諦めないで！働くことを 中澤デイがあります

(医療法人仁医会 通所事業部 中澤デイケアセンター)

西尾市はデイケアと就労支援の併用が出来ません。故に、脳卒中罹患者が復職を目指すにあたり、他市町村に比べ利用できるサービスが限られています。本来リハビリが必要であるが、就労支援を使用するためにデイケア利用が終了してしまった例もありました。そこで、当施設では脳卒中罹患者に対し復職を支援できるように環境を整備しています。他施設との協働や各事業所への情報伝達、内部スタッフのスキルアップを通じ、西尾市で必要とされる施設を目指した取り組みを報告しました。



一色地区での出張支援

(せんねん村 多文化ルームKIBOU)

外国籍市民の割合が6%を超えた西尾市。愛知県内で暮らしている外国籍県民の人数で見ても、岡崎市に次いで県内5番目の数です。また、日本で生まれ育つ子供たちも、比例して増えています。家族でゆったりと住む場所を求めて、市街地から郊外へ引っ越しを決めた家庭にとって、子どもたちが学校でうまくやれるか、学習についていくための日本語学習は十分なのかは大きな悩みの種です。わたしたちKIBOUは、こうしたニーズに対応すべく昨年度より一色地区への出張を開始しました。その取り組みを報告しました。



外国人だって働けるんだっ！

(せんねん村 特別養護老人ホームせんねん村ゆうひ1丁目)

日本人の人材不足に伴い、外国人留学生の採用を行っています。しかし、外国人スタッフが日本人と同じように働けるのか？と不安がなかったわけではありません。彼らの努力と、受け入れる側の努力が実を結び、今では外国人スタッフは介護現場における救世主となりました。実際に、彼らがどのように働いているのかを紹介しました。



保育園でのアレルギー児対応について

(せんねん村 矢田つぼみ保育園)

近年、アレルギーを発症する子供たちが増加しています。アレルギーには大きく分けて3つの種類があります。食物性アレルギー、吸入性アレルギー、接触性アレルギーです。様々な原因でアレルギーを発症している園児が、保育園で集団生活をするために、職員は一人ひとりが安心して安全に過ごすための環境づくりに取り組んできました。今回は一昨年からのアレルギー児の推移も加え、園児への対応について報告しました。



来年度も開催を予定しております！

多くの皆さまに支えられ、無事に取組発表会を終えることができましたことお礼申し上げます。来年度にも是非ご期待ください。またこの発表から得た新たな気付きを、ご利用者の皆さまへ還元できるようスタッフ一同、一層の努力を重ねて参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

素晴らしい発表が続きました
皆さま、お疲れ様でした



JSNだより

Life Life Life With Community

2024
No. 23
AUTUMN

Jin-i-kai-Sennenmura-Network dayori No.23



敬老会の写真

読書の秋は
ゆっくり過ごしましょう!



- 一 特別養護老人ホーム
せんねん村施設長
ごあいさつ
せんねんの一枚
風の盆
- 二 **ご報告**
特別養護老人ホームせんねん村
移乗用リフトとベッド入替
- 三 2024年
平口夏祭り!
- 四 JSN取組発表会
- 五

こころのびのび からだいきいき いのちきらきら
【大切にします あなたの個性】
『今日も1日良い日でした、と言っていただけのように』



社会福祉法人
せんねん村

せんねん村の
詳しくは



開設して以来、使用してきたリフトとベットを入れ替え！

バッテリーが最新のもので、より安全に
おのものになり、週2回
程度の少ない充電回
数と時間で済むよう
になりました。軽量化
され、介護職員の体へ
の負担がさらに減っ
たのも嬉しいポイント
です。またキャスター
が4輪から6輪になり、
安定性が増し、



リフト

特別養護老人ホームせんねん村の 移乗用リフトベットが新しくなりました

ベット



開設当初から使用していたベットは特注で、ヘッドボードに百合の刻印がされているとても珍しいものでした。村人さんとの約20年間の歴史が刻まれている、長年の思い出と感謝を胸に、お見送りしました。

入替作業は台数が多いため低床ベット80台、超低床ベット5台およそ半日かけて行われ、手際よく組み立て・交換が進みました。

新型は、低床タイプで液晶リモコンを見ながら1度単位で角度や高さを変えられます。サイドアップという背中を横から包み込むように支える機能や、約28cmまで下げられるようになった床板により、小柄な方でも安定した姿勢がベッド上でとれるようになりました。

せんねん村では「最期までお口から」を目標に取り組みをしており、各々の村人さんに最適な食事のしやすい角度に調節できるようにもなりました。



ごあいさつ

パリオリンピックを終えて

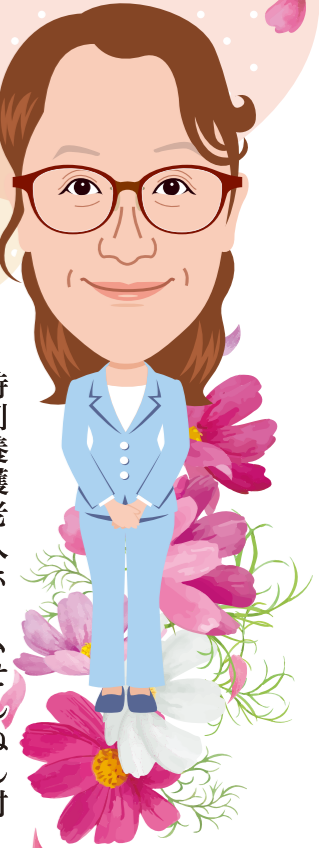
今年はおリンピックイヤー。日本のメダル獲得数が両大会あわせて86個にも上りました。一九六〇年以降、オリンピックとパリオリンピックは同会場、同選手村を使っていることになりました。パレル(並行の)オリンピックでパリオリンピックだと思っただけですが、他にも意味があるそうです。

かつては車いす使用者のみに参加者を限定していたことから、パラプレジア(対まひ)オリンピックがもともと古くからの歴史も長い競技でもあります。

おいても能力を活動につなげ、活動を社会参加につなぐことの重要性が示されています。

これからも村人さんが社会活動に参加できるように、私たちは試行錯誤を続けます。

特別養護老人ホームせんねん村
施設長 阪部 寿子



せんねんの一枚 風の盆



8月6日(火)、矢曾根・平口の両特養にて執り行われました。せんねん村では「広くなられること」「風になる」といいます。

これには病氣や怪我などの全ての苦痛から解き放たれ、風のように自由になられるという意味があります。当日は菩提寺のご住職が来所され、お経をあげてくださいました。ご家族をはじめ、参加され

た皆さまには順番にご焼香をしていただき、風になられたご利用者を偲びました。故人との大切な思い出はこれからもずっと穏やかに私たちの心に残ります。



平口夏祭り！南産！

2024年7月17日(水)に平口夏祭りが開催されました。村人さんに楽しんでもらえるように念入りに打ち合わせを行い、準備を進め当日を迎えました。

職員が主催する屋台の設営をしました。

職員、村人さんも浴衣や法被に着替え、準備万端。開始時間はすぐそこ！

カラオケ大会

なにか釣れるかな
干本釣り

百く冷たい
アイスルーム

熱々のたじやき

おいしい屋台、お楽しみ屋台が各種並びました。今年にはカラオケ大会もあり、村人さんも職員もステキな歌声を響かせてくれました。

夏祭りの最後はやっぱり打ち上げ花火。歓声が沸き上がり、夏を満喫されている様子でした。

暑い日でしたが、笑顔が溢れるひとときでした。また皆さまをお招きして、一緒に楽しめる日がくることを心待ちにしております。

